

沢さわだ田

自治センターだより

平成25年 12月号

◇編集と発行 沢田自治センター

電話 26-0696

FAX 26-3049

◇発行責任者：センター長

増子 美知夫

竹肥料米『さわ田』 おかげ様で2,000キロ完売できました。



沢田竹資源研究会が生産を手がけて二年目となるお米『さわ田』は、化学肥料を一切使用せず、発酵竹チップのみで育てました。収穫量にこだわらず、竹特有の肥料成分と豊富なアミノ酸効果に期待したコシヒカリ米です。

作付けを22aから52aに増やして2,000キロを収穫しました。これを5Kgと3Kgの袋詰めにして試行販売しましたが、500袋を11月末で完売しました。精米は一週間毎に4回に分けて、すりたての新米をお届けできるように工夫したのも効果的でした。

東京、長野、北海道など県外からの注文もあり、来年の予約までいただきました。とくにこれだけ早期に完売できたのは、沢田地区の多くのみなさんにご協力をいただいたおかげで、心から感謝いたしております。

来年はさらに作付けを増やす計画ですので、さらなるご協力をお願いいたします。

12月の行事予定

- 3日(火) ・書道教室(A) 13:30~
- 4日(水) ・民生委員方部会 9:00~
- 5日(木) ・パソコン教室(昼) 10:00~ (夜) 19:00~
- 6日(金) ・沢田青少協役員会 19:00~
- 10日(火) ・福寿会 10:30~ ・書道教室(B) 13:00~
・白鳥の会事前会議(3班) 19:00~
- 12日(木) ・パソコン教室(昼) 10:00~ (夜) 19:00~
- 17日(火) ・白鳥の会(3班) 9:00~ ・書道教室(A) 13:30~
・健康診断結果説明会 13:30~
- 18日(水) ・地域自治協議会設立準備委員会 19:00~
- 19日(木) ・パソコン教室(昼) 10:00~ (夜) 19:00~ . . . 最終
- 23日(月) ・共楽セミナー 10:00~
- 24日(火) ・書道教室(B) 15:30~

=====

沢田児童館園児とのふれあい

=====

沢田ミニディサービス『白鳥の会』（2班）

11月期の『白鳥の会』は19日に開催され、児童館の年長児16人と交流しました。児童の踊り、楽器演奏、手話ソング、手づくり紙芝居の発表を楽しみ、そのあとボールを使ったゲームやリズム体操で和やかにふれあいました。

子供たちとおばあちゃんたちの嬉しそうな顔が印象的でした。一緒に食べたカレーライスと春菊のごま和え、とてもおいしかったですね。これから寒い季節、元気にあたたかい気持ちで過ごしていただきたいと思います。



まちづくり・竹資源合同研修会

輪島市で、竹を資源として事業を展開している合間修一さん（株式会社サクシード取締役）が来町され、沢田竹資源の事業状況を視察しました。

この機会に、まちづくり委員会と竹資源研究会は、身近にあるものを活用して地域事業に結びつけてゆく大胆な発想を学ぼうと共催による研修会を開催しました。

講演で合間氏は、地域環境のなかのさりげないもの、竹をはじめ森林や草木そして生物、荒廃した土地もふくめて、そのいくつかに着目して手を加え少しずつでも価値を生み出し、これを集約すれば「ものづくり地域事業」として伸ばせる可能性があると話されました。

合間氏は現在、竹チップの温熱を利用してエビとドジョウの養殖に取り組まれています、ものづくり先駆者の合間氏にならい、新しいものづくりへの挑戦を果敢に展開していきたいと思っています。



>>>>>> >>>>>> >>>>>> >>>>>> >>>>>>>>

カブトムシ幼虫差し上げます

竹チップだけを食べて育つカブトムシの幼虫をプレゼントします。ご希望の方は当センターに申し込んでください。プレゼント期間は3月末までです。この時期を過ぎると、幼虫はさなぎの部屋（蛹室）をつくります。この時から成虫になって出て来るまで手で触れることができません。

元気な竹カブトが出てくるのが楽しみです。

☎ 26-0696